



財宮体協第 38 号
平成 20 年 4 月 25 日

各市町村スポーツ少年団本部長 殿

財団法人宮城県体育協会
宮城県スポーツ少年団
本部長 岩瀬 敬



平成 20 年度日本スポーツ少年団シニア・リーダースクールの開催について (通知)

平素から本県スポーツ少年団諸事業につきましては、平素より御尽力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、このたび、日本スポーツ少年団において、リーダーの資質の向上及び将来における指導者の養成を目的とした標記リーダースクールが別添要項により開催されます。つきましては、本県からの受講生を募集しますので別添開催要項をご確認のうえ、ご推薦くださるようお願いいたします。

なお、本県のスクール参加枠は 8 名となっているため、申込多数の場合には本県指導者協議会にて選考しますことを申し添えます。

また、本スクールを修了することは、国際交流における日本派遣団員になるための条件にもなっておりますので、本スクールの趣旨を御理解のうえ、貴管下スポーツ少年団員の参加について下記により提出願います。

記

1. 申込期日 平成 20 年 5 月 30 日 (金) 必着
2. 提出物 別紙 (様式 2-1) (様式 2-2) 各 A4 版
3. 提出先 〒980-0014
仙台市青葉本町三丁目 7 番 2 号
宮城県体育協会 少年団課あて
※提出の際、参加申し込み者の所属する単位団の平成 20 年度登録用紙 (団・1 号用紙、団員・3 号用紙) の写しを必ず添付すること。
4. その他 (1)参加者の推薦にあたっては、参加条件すべてを満たしていることはもちろんのこと、リーダーとしての資質、教養及び少年団活動への取り組み方等も充分考慮し推薦願います。
(2)参加料は本県にて負担します。その他、日本スポーツ少年団より交通費一部補助、本県より育成費を支給いたします。
(3)スクール参加決定者は平成 20 年 7 月 6 日 (日) に事前研修会を行います。
(4)「ジュニア・リーダー」の認定資格者に準ずる者 (リーダー制度から抜粋)
ジュニア・リーダーの認定資格者に準ずる者とは下記活動単位の合計が 10 単位以上の者をいう。
《活動単位》

1. 全国スポーツ少年大会参加	・・・6 単位
2. 東北ブロックスポーツ少年大会参加	・・・5 単位
3. スポーツ少年大会 (全国・ブロック・都道府県) 競技別交流大会 (全国・ブロック・都道府県)	・・・7 単位
ジュニア リーダースクールへの運営委員としての参加	

平成20年度日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール開催要項

1. 主 催 財団法人日本体育協会日本スポーツ少年団
2. 後 援 文部科学省 (予定)
3. 期 日 平成20年8月7日(木)～11日(月) (4泊5日)
4. 会 場 国立中央青少年交流の家
〒412-0006 静岡県御殿場市中畑 2092-5
*会場への荷物の送付および電話連絡は一切禁止する。
5. 参加条件
各都道府県におけるスポーツ少年団登録団員で下記参加条件すべてに該当し、かつ各都道府県スポーツ少年団本部長の推薦する者。
 - (1) 平成20年度団員登録を行い、義務教育を修了した20歳未満の者(平成20年4月1日現在)
 - (2) ジュニア・リーダー認定資格を有する者(これに準ずる者を含む)
 - (3) 全プログラムに参加できる体力・運動能力を持っている者
(運動適性テスト3級程度の能力を有する者が望ましい)
 - (4) 集団生活における規律を守ることができる者
6. 参加者 300名
各都道府県スポーツ少年団の参加枠は別紙一覧による。なお、全国で300名に満たない場合、各都道府県スポーツ少年団は割当人数を超えて参加者を推薦することができる。
7. 研修内容
日本スポーツ少年団リーダー制度に定められた養成内容に基づき研修を実施する。
 - (1) 講義
 - (2) グループディスカッション
 - (3) 実習
 - (4) 自主プログラムによる研修
 - (5) 通信研修
8. 経 費
 - (1) 参加料：1名 15,750円(税込)
 - (2) 交通費については本会が定める旅費規定に基づき補助をする。
なお、支給方法は所属都道府県スポーツ少年団の指定銀行への口座振込とする。
 - (3) 合宿研修に伴う宿泊費(食事代を含む)及び研修に必要な教材は、日本スポーツ少年団が負担又は用意する。
9. 参加申し込み
各都道府県スポーツ少年団は、参加者を取りまとめ、別紙申込書(様式1)と個人申込書(様式2-1)および事前課題レポート(様式2-2)を添えて、下記により申し込むこと。

- (1) 申込先 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内
財団法人日本体育協会 日本スポーツ少年団
- (2) 申込期限 平成20年6月13日(金) 消印有効
- (3) 参加料
日本スポーツ少年団からの参加者決定通知受理後、15,750円(税込)×人数分を
各都道府県スポーツ少年団から一括して銀行振込にて納入すること。

振込先	三菱東京UFJ銀行 渋谷支店
	普通預金 No.2295932
	(財)日本体育協会

10. 評価・認定について

全過程修了者は日本スポーツ少年団リーダー制度に基づき、シニア・リーダーとして認定を行う。なお修了の評価は、スクーリング期間中の活動と通信研修のそれぞれを対象に、日本スポーツ少年団リーダー養成ワーキンググループにおいて行い、日本スポーツ少年団指導育成部会にて認定の可否を判断する。

11. 傷害保険

スクーリング期間中は、(財)日本体育協会が参加者全員を被保険者として以下の傷害保険に加入する。

(1) 支払われる保険金

- | | |
|----------|----------------------|
| ①死亡保険金 | 200万円 |
| ②後遺障害保険金 | 後遺障害の程度に応じて6万円～200万円 |
| ③入院保険金 | 日額3,000円(180日限度) |
| ④通院保険金 | 日額2,000円(90日限度) |

- (2) 保険金の支払いについては、事故による傷害が対象となり、疾病は対象とならない。
(事故による傷害の場合、その治療費は被保険者本人が治療完了まで支払い、その後本人所定の保険金請求手続きを行うことにより保険金が支払われる) なお、その他保険金支払いに係る詳細については、傷害保険普通保険約款および国内旅行傷害保険特約条項による。

12. その他

- (1) スクーリング会場での前泊申込みについては、各都道府県スポーツ少年団で取りまとめ、一括して日本スポーツ少年団に申し込むこと。
- (2) 参加者は、受付時間(開催初日の12時)までに会場に集合のこと。また、最終日は閉校式終了後、12時過ぎの解散となる。解散前に会場を離れなければならない電車・飛行機等を予約しないこと。
- (3) 研修期間中、参加者は全活動に参加し、早退ほか自由行動は一切認められない。
- (4) スクーリング日程等詳細については、追って日本スポーツ少年団より参加者に連絡する。

(この事業は(財)JKA「競輪公益資金」の補助を受けて開催するものです。)

日本スポーツ少年団では、スポーツ少年団リーダーを組織的に整備し、リーダーとしての役割の理解や資質の向上をはかり、将来のスポーツ少年団指導者を育成するために「日本スポーツ少年団リーダー制度」を定め、単位団指導者や都道府県・市区町村スポーツ少年団との連携によってジュニア・リーダー、シニア・リーダーの養成を行っています。

1. シニア・リーダースクールの目的

シニア・リーダースクールとは、日本スポーツ少年団が、シニア・リーダーの資格を認定するために開設しているもので、中学を卒業した15歳から20歳未満の少年団員（リーダー）を対象として、全国から参加者を一堂に集めて4泊5日の宿泊研修を行うものです。このスクーリングとその後には課せられる通信研修の評価をあわせて、シニア・リーダーの資質に到達しているかどうか判定され、合格したリーダーに資格を認定しています。

そのため、シニア・リーダースクールは、「スポーツ少年団の単位団やリーダー会の活動において模範となって活動できる知識や技能を習得させる」という使命があります。その使命を到達するために、次のような2つのスクーリングの目的を掲げています。

- 1) シニア・リーダーとしての個々の資質と技能を向上させる
スポーツ少年団のシニア・リーダーとして求められる最低限の知識と技能を習得させる
- 2) 指導者に向けた継続活動を視野にいれ、自らのリーダー活動を振り返り、今後のリーダー活動の改善点を明らかにする
参加者の個別課題に対応し、班活動やグループワークを通じた気づきを重視する

2. スクーリングの内容

スクーリングでは、上記の2つの目的を達成するために課題を設定し、それを達成するために学習活動、グループ活動、スポーツ指導実践などを通じて、参加したリーダー一人ひとりの知識や技能を高めることができるようにプログラムを設定しています。

【学習活動】 全体講義(理念と歴史、組織と役割、活動計画、安全管理、発育発達、国際交流)、実習

【グループ活動】 班別活動、係別活動、テーマディスカッション、早朝活動、集団宿泊生活

【スポーツ指導実践】 地元小学生の団員を対象としたスポーツ活動の企画運営評価

3. 通信研修および期間について

スクーリング終了後、11月までを通信研修期間とし、スクーリングでの班の課題や自分の課題を団活動の中でどのように解決していくかという実際の取り組み期間とします。

4. シニア・リーダーの認定について

スクーリングおよび通信研修が修了したリーダーは、日本スポーツ少年団が「日本スポーツ少年団シニア・リーダー」として認定し、平成21年3月に認定証と認定品を交付します。

(平成19年度までのシニア・リーダー認定者数は、7,701名)